



雪が降る日もありまだ少し冷たい風が吹いていましたが、天気の良い日には、園庭で遊ぶことができました。久しぶりだったので、「お外行こうか」と声をかけると「お外!？」と嬉しそうに目をキラキラさせる子どもたち。これから暖かくなっていくので、積極的に外に出て自然に触れながら体を動かしたいと思います。



2日には、豆まきがありました。自分たちが作った鬼の被り物を頭に付け、ホールで節分のお話を聞いたり、歌『まめまき』やダンス『おにのパンツ』を楽しみました。そして、部屋に戻りホールに鬼が出てくる様子を見ました。初めはドアの近くでホールを見ていましたが、鬼が出てくることが分かると顔色が変わりさっと部屋の奥へ逃げる子、保育教諭の後ろに隠れる子、怖くて泣いてしまう子、全く怖がっていない子など反応は様々でした。

鬼は怖かった様子ですが、『おにのパンツ』のダンスは大好きになりました。今でも「おにのパンツして」とリクエストしたり、保育教諭が歌うとそれに反応して喜んで踊り、「もっかい!」と何度も楽しんでいます。

3月のひなまつりに向け、雛飾りの制作をしました。今回の制作では、2つのことに初めて取り組んでみました。1つ目は、顔を描くことです。今までは、目や口のパーツを貼っていましたが、今回は自分で描いてみることにしました。まだ描くのは難しい子が多かったですが、これから描く経験をしていくうちに理解ができるようになっていくと思います。2つ目は、糊で貼ることです。今まではシールや両面テープで貼っていたので、初めての糊の感触に不思議そうにしたり、手についた糊で指がくっつき、ゆっくり指を離して糊が伸びる様子を観察したりしていました。ゆらゆら揺れる可愛い雛飾りが完成したので、また見てあげてください。



〇エピソード〇

- ① Aちゃんとタッチをしたり、手の平をくすぐったりして、手を使って遊んでいた時、Aちゃんの手の平と保育教諭の手の平が合わさったのを見て、
Aちゃん 「せんせい、おっかい!」
保育教諭 「ん?何が?」
Aちゃん 「おてて、おっかい!」
保育教諭 「先生のおてて、おっかいやろ~
Aちゃんのおてては?」
Aちゃん 「Aちゃん、ちっちゃい!」



- ② 絵本を読んでいた時、くまの親子が出てきて、それを見たBちゃんがくまのお母さんを指さして「おっかい!」くまの子どもを指さして「ちっちゃい!」と言いました。

☆この2つの場面から、『大きい』『小さい』という言葉の意味、そして『大きいの反対は小さい』という理解ができていることが分かります。この大小の概念が理解できるのは2歳6ヶ月頃だと言われ、早くに2歳になったAちゃんとBちゃんらしい姿だなと感じました。この約1年でたくさん言葉を覚え、話せるようになった子どもたち。話せる言葉の幅が広がってきているなと感じた場面でした。